

2023年度第2回町田市立国際版画美術館運営協議会

日時： 2024年1月31日（水）
午後2時から

場所： 国際版画美術館 講堂

1 報告事項

(1) 2023年度後半期の事業の振り返りと総括について

- ・ 展示事業

- 「版画家たちの世界旅行 -古代エジプトから近未来都市まで」展……（資料1）

- ・ 普及事業

- ……（資料2）

(2) 2023年度前期の美術資料の収集状況について

- ……（資料3）

(3) 2023年度第25回「ゆうゆう版画美術館まつり」実施報告 ……（資料4）

(4) 芹ヶ谷公園“芸術の杜”パークミュージアムの進捗状況について……（資料5）

2 審議事項

(1) 2024年度事業計画について

- ・ 展示事業

- ……（資料6）

- ・ 普及事業

- ……（資料7）

3 その他

● 展覧会の鑑賞

新収蔵作品展 Present for You わたしからあなたへ／みんなから未来へ

第37回 町田市立公立小中学校作品展

黒崎彰 50年の軌跡

2023年度国際版画美術館事業報告書【展覧会版】

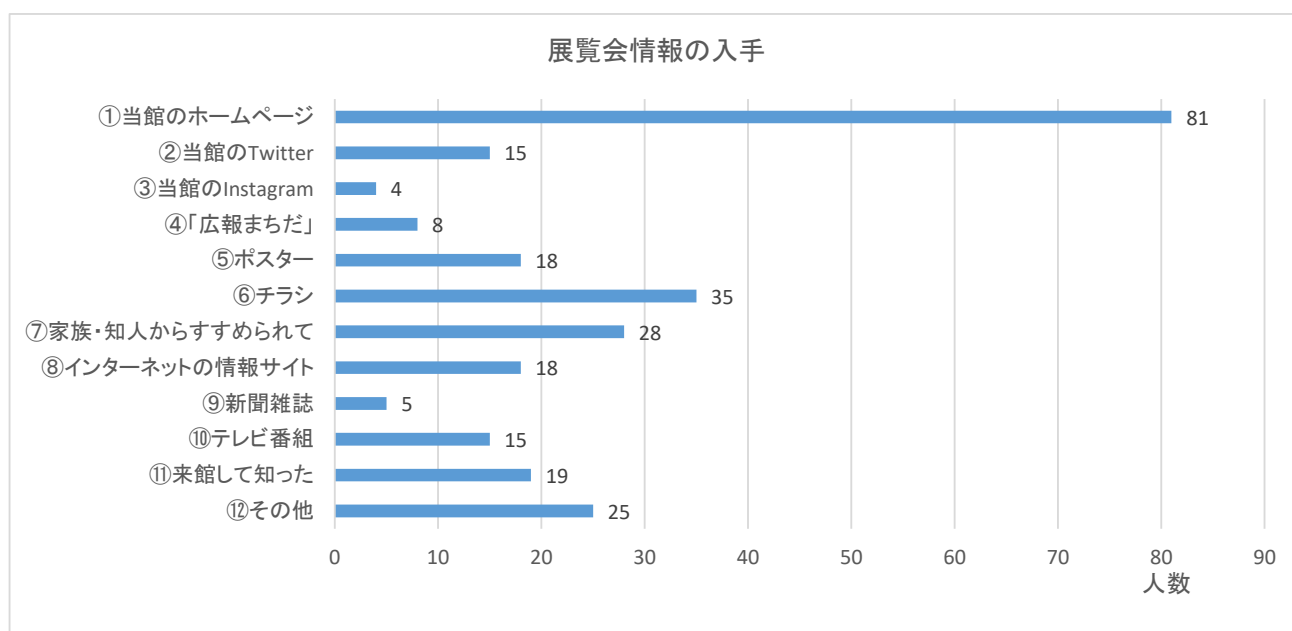
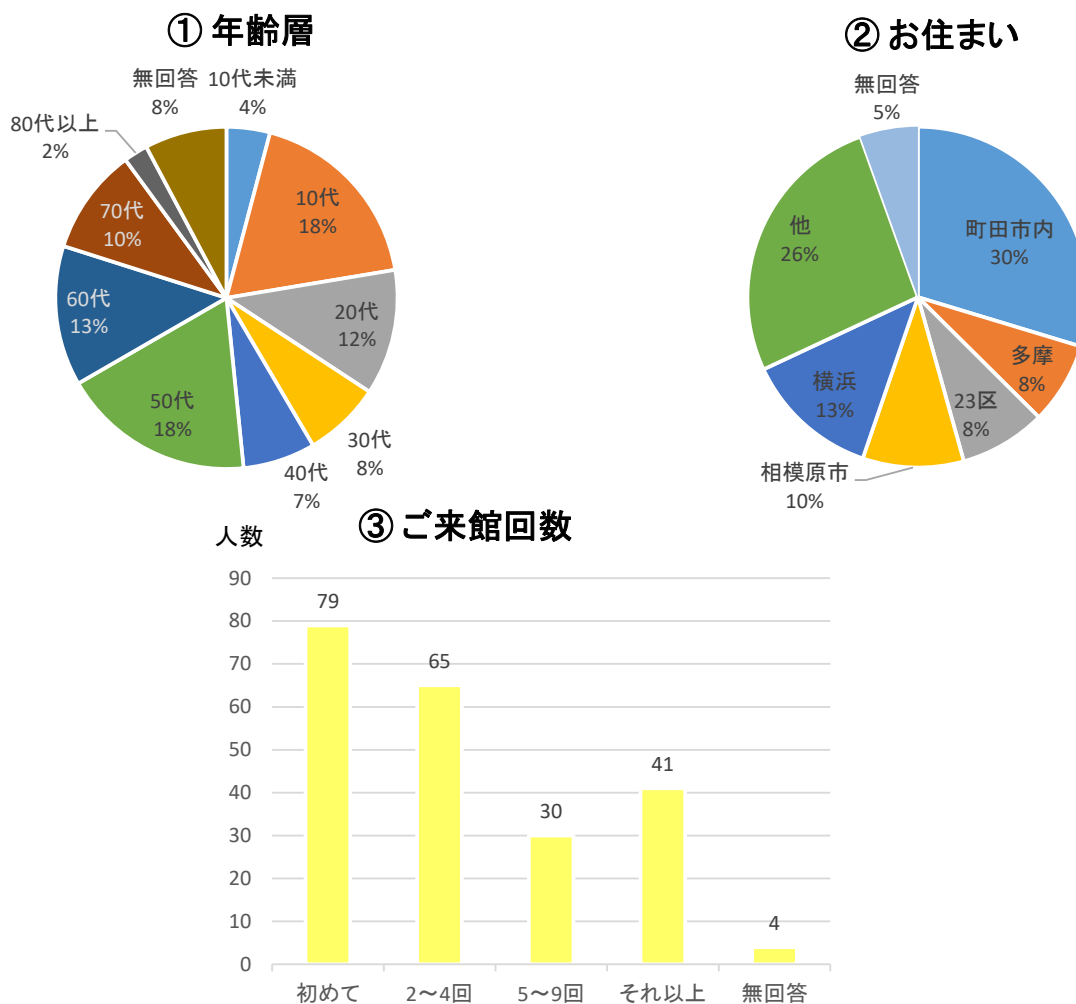
展覧会名	版画家たちの世界旅行—古代エジプトから近未来都市まで			担当者名	高野詩織		
会期	2023年7月22日(土)～9月24日(日)			開催日数	56日間		
協賛・後援・協力	なし						
巡回館	なし						
展覧会概要	「世界旅行」をテーマに、西洋版画のオールドマスターからヨルク・シュマイサーら現代作家まで、多種多様な国と地域から着想を得た版画家の作品を紹介する収蔵品企画展。新型コロナウイルス感染症の影響により展示期間が半減した2021年度の特別展「#映える風景を探して—古代ローマから世紀末パリまで」を当館コレクションのみで再構成し、20世紀以降の現代作品を加えた約160点を展示した。						
ねらい・対象	夏休み期間の収蔵品企画展として、町田市内外の小中学生をメインターゲットとした。ヨーロッパの古版画を中心に構成した「#映える風景を探して」展から内容を発展させ、日本、オーストラリア、エジプト、南極などを実際に訪ねた版画家たちの作品を展示することで、学校の授業やメディアを通じて外国に関心を抱いた子どもたちに楽しんでもらえるように心がけた。						
関連催事	催事名	開催日	タイトル	講師等	参加者数		
	記念講演会	9月18日(月・祝)	旅と版画 驚異・発見・夢想	巖谷國士	102人		
	バックヤードツアー	8月5日(土)	親子で探検！美術館バックヤードツアー	担当学芸員 協力：博物館実習実習生	37人(17組)		
	こどものための鑑賞会	8月19日(土)	はながワールドツアー	富田めぐみ (NPO法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会代表理事)	19人		
	ギャラリートーク	7月29日(土) 8月20日(日)	担当学芸員によるギャラリートーク	担当学芸員	20人 28人		
	プロムナードコンサート	9月9日(土)	音楽の世界を旅する	桜美林大学芸術文化学群、玉川大学芸術学部	196人		
	小中学生向けジュニアガイド配布	会期中			3000人		
観覧料	一般	大・高生	中学生以下	無料日			
	800 円	400 円	無料	・初日：7/22 ・シルバードー(満65歳以上無料)：7/26、8/23			
	有料計	無料計	総観覧者数	内、一般	内、大・高生	内、小・中生	内、その他
	5,757 人	2,288 人	8,045 人	6,604 人	403 人	1,038 人	0 人
	目標値	8,880 人					
主な収入	観覧料収入	図録販売収入	受託販売収入	その他の特定財源			
	3,822 千円	536 千円	1,124 千円	— 千円			
事業経費	・講師謝礼 ・事業協力謝礼 ・著作権使用申請委託料 ・設置・撤去委託料 ・作品額装委託料 ・広告・宣伝委託料 ・ポスター等作成委託料 ・ディスプレイ作成委託料 ・イベント企画運営委託料			58千円 50千円 31千円 496千円 496千円 143千円 648千円 644千円 102千円	2,668 千円		
主な広報・取材等の講評	【テレビ】NHK日曜美術館アートシーン(9月3日放送) 【ラジオ】GOOD NEIGHBORS(J-WAVE) 【新聞】東京新聞、相模原新聞、町田ジャーナル 【雑誌】NHK出版「旅するイタリア語」9月号、散歩の達人9月号、月刊ギャラリー 【ウェブ】Fashion Press、国際文化会館WEB、Tokyo Live&Exhibits、ウェブ美術手帖、美術展ナビ、ウォーカープラスほか						

アンケート結果	回収数	回収率	市民率	リピーター率	満足度(とても良かったと良かったの率)		
	219 件	2.7 %	30 %	64 %	企画の内容	展示作品	展示の仕方等
	主なご意見	別紙のとおり。					
工夫と反省点、改善方法	予備調査	2022年8月頃に、「#映える風景を探して—古代ローマから世紀末パリまで」展を再構成した収蔵品企画展の開催が決定し、作品の選定・調査を開始した。当初は企画展示室1のみでの開催を予定していたが、9月頃に企画展示室2を含めた2室で実施することとなり、他館から作品を借用せずに展覧会を構成するために、地域・時代の範囲を広げることとした。同年11月に最終的なタイトルを「版画家たちの世界旅行」とした。イベント関係者への連絡は2023年3月頃に行い、適宜打ち合わせを行った。					
	作品選択	約150点をを選定し、5章構成とした。会期が夏休み期間と重なることから、小中学生に親しみを持ってもらえるように取り上げる地域を日本を含む世界へと広げ、20世紀以降の大画面作品やカラーの版画も付け加えた。なお、「#映える風景を探して—古代ローマから世紀末パリまで」展と重複した出品作品は約50点である。 「1章 イタリアを目指す旅」では、アルプス以北の「北方ヨーロッパ」から修行や研鑽のためにイタリアを訪れた16-19世紀の版画家を紹介。ピーテル・ブリューゲル(父)他オールドマスターの名品を展示した。「2章 「オリエント」をめぐる旅」では、17-20世紀にヨーロッパを離れ、まだ見ぬ土地を目指した版画家たちを取り上げ、ナポレオンの『エジプト誌』、ジョルジュ・ビゴの『クロッキー・ジャポネ』などを展示した。「3章 「絵になる風景」を発見する旅」では、18-19世紀のイギリスとフランスで流行した景勝地をめぐる国内旅行「ピクチャレスクツアー」を取り上げた。「4章 都市に集う芸術家の旅」では、19世紀末のパリ、20世紀中頃のニューヨークで創作活動を行った版画家の作品を紹介し、とりわけ第二次世界大戦期にアメリカに渡った「亡命芸術家」に光を当てた。最後の「5章 現代の「旅する芸術家」」では、世界各地で大規模なアート・プロジェクトを手がけたクリストとジャンヌ=クロードと、ヨーロッパからアジア、南極までを旅したヨルク・シュマイサーをご紹介した。またエピソードとして「旅する版画」を特集し、「TOKYO まちだ国際版画展」(1992年)等の国際展を通じて当館に収蔵された作品を活用し、1~4章でカバーできなかったオーストラリアの島嶼部や韓国、ベトナム、アルゼンチンといった国・地域の作家を紹介した。					
	図録	展覧会図録は作成しなかったが、「#映える風景を探して—古代ローマから世紀末パリまで」展図録等、本展の出品作品に関連する過去の図録を販売した。作品への理解を深める手助けとして、2020年度以降新型コロナウイルス感染症対策のため撤去していた見本図録を展示室内の椅子に設置した他、途中の休憩室(ビデオコーナー)内にはミニライブラリーを設けた。本展の図録を希望する意見も多かったものの、ミュージアムショップでの関連図録の売れ行きは好調だった。					
	広報	ちらし・ポスターでは、アール・デコ期のイラストレーター、エディ=ルグランの『マカオとコスマージュ』をメインビジュアルに使用した。モダンで華やかなイラストレーションを全面に使用することで、小中学生や若年層に訴求することを目指した。西洋の現代作家の著作権料が高額であるため、広報画像は19世紀以前の作品を中心に選択することとなったが、アンケートによると『エジプト誌』の細密な銅版画に関心を持って来館した方が多く見受けられた。					
	宣伝	駅貼り広告やSNS広告は実施せずに、オンライン・プレスリリースを行うとともに町田市内の全小中学校にチラシを送付して告知を行った。チラシから展覧会情報を入手した来館者が多く、夏休み期間には多くの子どもが訪れ、中学生以下の来館者は1000人超となった。夏休み終了後も9月初旬の「NHK日曜美術館アートシーン」放映、巖谷國士氏の記念講演会に関連したSNSの口コミ等の効果が大きく、展覧会前半から後半にかけて来館者数が落ち込むことなく安定して推移した。					
	ディスプレイ	広報印刷物に合わせてディスプレイもポップで親しみやすいデザインを採用し、キャプションは文字サイズを大きくするなど読みやすさに配慮した。55点の作品に200~250字程度の解説をつけた他、作品や時代背景に関する理解が深まるように14点のコラムパネルを設けた。また展示室内の休憩椅子を多めに設置し、リラックスして鑑賞できる環境を整えることを目指した。					
	イベント	仏文学者で旅行作家の巖谷國士氏による記念講演会、担当学芸員によるギャラリートークの他、夏休みイベントとして親子向けバックヤードツアー、子どものための鑑賞会を行った。特に2018年夏以来5年ぶりの開催となったバックヤードツアーと、多方面で活躍する巖谷氏の記念講演会は期待度が高く、申し込み開始後まもなく定員に達した。なお、バックヤードツアーは博物館実習のプログラムとして企画し、担当学芸員立ち合いのもと実習生15名が各部屋の解説を行った。					
	小中学生向けのガイドとキャプション	小中学生向けジュニアガイドを展示室で無料配付した。主要作品の制作地を示した世界地図や、作品を見ながら答えるクイズが好評で、会期中に全3000部が配布終了となった。また展示室内では、通常の作品キャプションの下に画中の人物や動物などを探すクイズパネルを設置し、低学年以下の子どもにも楽しく鑑賞してもらうことを目指した。					
その他特記事項	・会期中は猛暑日が連日観測され、展示室および休憩室(ビデオコーナー)での水分補給の禁止、扇子やハンディ・ファン等の利用制限について例年以上に多くのご意見をいただいた。水分補給が可能なエリアについて看板でわかりやすく周知し、展示室内の椅子を増設するなどの対策を講じたが、来年度以降も作品の保護と来館者の安全対策の両立について検討していく必要を感じた。						
館長からの指導点							
運営協議会での検証							

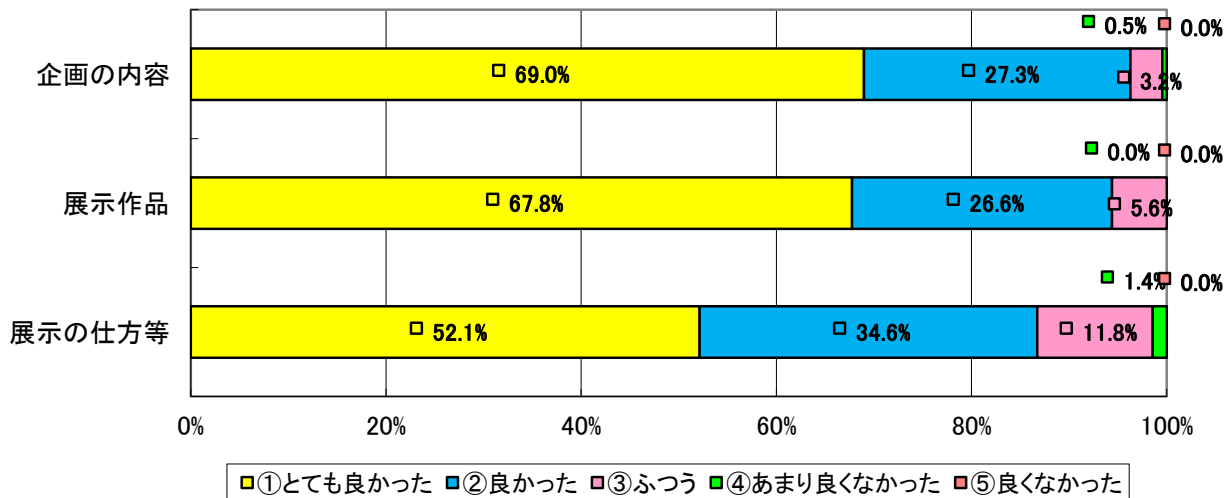
「版画家たちの世界旅行ー古代エジプトから近未来都市まで」展 アンケート集計結果

開催期間：2023年7月22日（土）～9月24日（日）

回答者数：219人（総入館者数：8,045人 アンケート回収率：2.7%）



⑥ 回答者の満足度



⑦ 主なご意見・感想

◆企画の内容

- ・世界旅行をしてみて、海外の作品から色々な視点で作品を見て、色使いや筆の使い方について見ることができ、とても良かったです。また来たいと思いました。
- ・よい視点だと思いました。古典から現代まで幅広くとても楽しめました。時代を追いながらの展示でとても分かりやすかったです。作品の下の文が何を示しているのか友人と話しながら楽しみました。
- ・版画自体に知識がなかったので、たまたま立ち寄ったので来てみたが、面白く、凸版以外の方法についても興味が湧いた。
- ・洋の東西も、時代も問わず、人は生きている時代の、良き記憶、悲しい記憶を文で絵で音でのこすのだなあと改めて思った。(企画展の島の「文明化」を、やがてのがれてゆく2人の画面は、アイデアですね。)南の島の人の手になる版画ははじめてみられてありがたかった。

◆展示作品

- ・またエジプト誌の扉絵が見られる！と勇んでやってきました。他の作品とは細かさ美しさが段違いで！
- ・元々17～19世紀のヨーロッパの風景画が好きで、「推し」の画家の版画作品が見られたので良かったです。私個人としては、廃墟画やピクチャレスク風景画が好きなので、そのような作品が展示される機会があれば、また伺いたいです。ありがとうございました。
- ・ゴーガンの木版をはじめて見て感動しました。他、見どころありありで、又期待して見にきます。
- ・デマジエールの「バベルの図書館」は空想でありながら現実的で楽しくジブリの様に感じた。
- ・最初は銅版ばかりか、、、と思いましたが木版、リト、スクリーンとばかりか写真もあって、とてもよかったです。銅版は巨匠もやっていてすばらしいものが多いですが、今回くらいバリエーションがある方が私はよいです。
- ・有名な作品の展覧があるとよいとおもった。

◆展示の仕方やキャプション

- ・説明や見どころが分かりやすく、良かったです。
- ・色々な技法の作品があっっておもしろかったです。それぞれの技法による作品の製作の仕方の解説があるととてもうれしいです。
- ・もう少し絵の説明があると良いと思う(子供に対して)
- ・目録に原語、技法がすべてのついていたのがとてもよかったです。
- ・作品の種類(リトグラフとかエッチングとか)が様々で時代と技法がまたがって見応えがありました。作品のむずかしさ？ぎょうぎょうしさに対してキャプションの「どんなダンスかな？」など何てことない手引きがよかったです。自分でも作品つくりたくなりました。

◆その他、感想・要望など

- ・送迎バス希望(1日1回でも)(月2回でも)町田駅から遠い。
- ・小声で少しだけ話をしたら、とたんに注意をされた。緊張感をいられ不快であった。(もう少し、ようすを見てから声かけでもよかったのではないかと)絵を觀賞する際、同行者と少しは話をしたくなるもので。
- ・スマホのカメラの音が非常に気になる。無音のアプリをすすめてはどうか。
- ・イス、ソファをもう少し置いてほしい。疲れます。

2023年度・普及事業 2023年4月～2024年3月

2024年1月31日
町田市立国際版画美術館
運営協議会資料(普及係)

1 版画講座

版画工房・アトリエにて開催される版木の講習会。様々な種類の版画を体験することができます。制作を通して版画の理解を深め、創作の楽しさを味わうことを目的としています。
子どもを対象にした講座では、版画美術館ならではの楽しい制作体験ができるよう工夫を重ねています。

No	事業名	対象	概要(敬称略)	実施日程	会場	定員	参加延人数	うち小中学生	参加費
1	木版画一日教室①	一般 (高校生以上)	彫刻刀やバレンの持ち方から、絵具の溶き方、刷毛の使い方まで、版画の基本的な制作を一日で体験する。初心者から参加可。単色または2色摺りの年賀状を制作。下絵は講師が複数用意し、好きなものを選ぶ。彫りから摺りまで、ハガキ30枚程度を制作する。講師:木下泰嘉(版画家)	12/5(火) 10:30～16:00	アトリエ	16人	15人	—	3,000円
2	木版画一日教室②			12/6(水) 10:30～16:00	アトリエ	16人	16人	—	3,000円
3	創作講座 リトグラフ 「描く×版画＝リトグラフの世界」	一般 (高校生以上)	4版多色刷りの作品制作を通してリトグラフの基本的な制作手順と表現を学ぶ。受講生が下絵を持参し、色版の分けかたや刷る色などを講師と相談しながらそれぞれのペースで制作した。2点制作する方や5版刷り重ねた方もおり、個性豊かな作品が完成した。最終日は完成作品を囲んで鑑賞会を行った。講師からそれぞれの作品にコメントをいただいたほか、サインの入れ方や額装の仕方も指導していただいた。講師:山口茉莉(版画家)	9/13(水)～11/15(水) 13:30～16:30 水曜日10回	版画工房	10人	100人	—	30,000円
4	子ども講座②-みてみてつくろう- キッチンリトグラフに挑戦 「バターとコーラでみんなのまちを刷ってみよう！」	小学3～6年生	企画展「版画の青春 小野忠重と版画運動」(2024年3/16～5/19開催)を鑑賞したあと、展示会にちなんで「まち」をテーマに、「キッチンリトグラフ」という技法で小作品を制作する。 ※キッチンリトグラフとは…台所にある身近な素材で簡単にリトグラフが体験できる平版技法。アルミホイルを版に用い、バターやコーラを使って版を作る。	2024年3/30(土) 13:30～16:00	企画展示室 講堂	16人	未実施	16人	1,000円

2 学校教育への協力

町田市内の学校を中心に、美術部の体験学習や学校単位での団体鑑賞、出張授業などをおこなっています。
版画技法について教員からの問い合わせに答えたり、教員研修会への講師紹介・道具の貸出しなどもおこなっています。

No	事業名	対象	概要	実施日程	会場	参加人数	参加延人数	うち小中学生	参加費
1	版画講座	東京学芸大学 教育学部 美術講座の学生	アルミ版によるリトグラフの基本的な制作方法を学ぶ。1版単色刷(色インク)にベタ版を加えた2色刷りを制作する。	2024年2/28(水)、3/6(水) 10:30～16:00	版画工房	7人	未実施	—	3,000円
2	体験学習	神奈川県立麻生支援学校 中学部	神奈川県立麻生支援学校中学部生徒15人。講堂にて復刻浮世絵版木の摺り体験、伝統的木版木の道具や素材の紹介(手で触れる)のほか、常設展示室での鑑賞をおこなった。	①9/28(木) ②10/5(木) 10:50～11:20	講堂	①7人 ②5人	①7人 ②5人	①7人 ②5人	—
3	教員研修会等への協力	千代田区立小学校教員	千代田区教育会図画工作部からの依頼により、夏季実技研修会を企画・実施。【研修会内容:紙版を使用した凹版画の制作。版サイズ13.5×19.5cm、単色刷り、図工教員7人参加。講師・当館学芸員】※この研修を踏まえ、区立お茶の水小学校で授業研究が行われた。5年生24人を対象に5時間の授業が実施され、そのうちの1時間(45分)が10/20(金)に公開された。	8/23(水) 13:30～16:30	版画工房	7人	7人	—	500円
4	教員研修会等への協力	町田市立小学校教員	町田市公立小学校教育研究会 図工部 夏季実技研修会開催にあたり、講師の紹介、内容・進行に対する助言、会場利用に関する調整等を実施。【研修会内容:講師・杉浦幸子氏による鑑賞学習の指導方法についてのレクチャー、およびグループワーク、図工教員31人参加】※この研修会をきっかけに講師の杉浦氏が市立南第一小学校で鑑賞授業を11/7(火)に実施。5年生116人を対象に、アーティストの水上泰財氏、全盲の美術鑑賞者として活動する白鳥建二氏を招いた授業が2時間(90分)実施された。	8/25(金) 10:00～12:30	講堂	31人	31人	—	—
5	自由研究への協力	武蔵野市立小学校 3年生児童	冬休みの課題「昔の道具しらべ」(調査とスケッチ)において石版画印刷機を選択した小学3年生が来館。版画工房のリトグラフプレス機をスケッチするとともに、制作工程や描画・製版・印刷に関する用具、画材について調べた。学芸員が説明。	12/27(水) 14:00～16:00	版画工房	1人	1人	1人	—

3 他機関への協力

美術館や大学からの依頼を受けて、調査・研究活動に協力します。

No	事業名	対象	概要	実施日程
1	「版画いろいろ 目黒区美術館コレクション展」への資料貸出	目黒区美術館	「目黒区美術館コレクション展 版画いろいろ」展に4版種の版や作例、制作道具類を貸出。技法解説資料として会場で展示された。また4版種の技法紹介動画「版画のつくりかた」が上映された。	10/7(土)～11/12(日)

2	「第90回記念版画展」におけるイベントへの道具貸出	一般社団法人 日本版画協会	「第90回記念版画展」(10/8～22 東京都美術館)におけるイベントで使用する用具の一部(銅版画用腐蝕バット、彫刻刀)を貸し出した。 ①デモンストレーション「銅版画の美演」講師:若月公平氏 展示会場内 ②ワークショップ「木版画(拓摺り)公開制作」講師:丸山浩司氏 東京都美術館スタジオ	①10/13(金) ②10/21(土)
3	教育普及活動に関する現地調査	神奈川大学建築学部 建築学科	神奈川大学建築学部建築学科助教の吉岡寛之氏より依頼を受け、美術館における市民参加による活動の調査に協力。【協力内容:創作に関する活動場所、家具備品についてのヒアリング、現地調査。木版画一日教室の見学】	11/29(水)15:00～16:45 12/6(水)14:00～16:00
4	教育普及活動に関する現地調査	日本大学大学院 理工学研究科	博士前期課程建築学専攻2年に在籍する学生の依頼を受け、「美術館における観客参加に関する研究」のためのヒアリング調査に協力。【内容:ワークショップの内容と、その活動の場、手法について】	2024年1/19(金) 10:00～11:00

4 作品展

講座で制作した作品による作品展を、館内の市民展示室等で開催します。作品を展示する機会を受講生に提供し、「発表する楽しさ」を経験してもらうことを目的としています。小中学校作品展では、美術館を会場とし美術館職員がかかわることで、より質の高い展示を目指しています。

No	事業名	対象	概要	会期	会場	出品状況	来場者数	うち小中学生	観覧料
1	第37回 町田市公立小中学校作品展	どなたでも	町田市内の公立小中学校にかよう児童・生徒による作品展。子どもたちが授業等で制作した美術、図画工作、書写の意欲溢れる作品を展示し、日頃の学習の成果を発表する。 <参加校> 町田市立小学校および中学校 <出品作品> 上記学校の授業等で児童・生徒が作った水彩画、版画、デザイン、ポスターなどの平面作品ならびに中学生による工芸、彫刻などの立体作品。および小学生の書写作品。 <会場> 企画展示室1 <主催> 町田市、町田市教育委員会、町田市公立小学校教育研究会図工部・国語部、町田市中学校教育研究会・美術部	中学校美術作品展 2024年1/12(金)～21(日) <9日間>	企画展示室 1	20校	開催中		無料
				小学校図画工作展 2024年1/26(金)～2/4(日) <9日間>	企画展示室 1	42校			
				小学校書写展 2024年2/9(金)～2/18(日) <9日間>	企画展示室 1	42校			

5 イベント、コンサート

気軽に参加できるさまざまなイベントを実施することで、より身近な美術館となるよう努めます。

No	事業名	対象	概要 (敬称略)	実施日程	会場	定員	参加人数	うち小中学生	参加費
1	プロムナード・コンサートⅣ 「フルートとピアノで巡る明治の風景」	どなたでも	「楊洲周延 明治を描き尽くした浮世絵師」展関連催事 河野彬(フルート)、高橋ドレミ(ピアノ) G. ビゼー:「アルルの女」第2組曲より メヌエツト(抜粋) モンティ:チャールダーシュ、滝廉太郎(矢代秋雄編):荒城の月	11/4(土) ①13:00 ②15:00 各回30分	エントランス ホール	①100人 ②100人	①99人 ②66人 立ち見含む	①3人 ②5人	無料

6 版画工房・アトリエの一般開放

No	事業名	対象	概要	実施日数	会場	利用者数	使用料
1	版画工房・アトリエの一般開放	版画制作経験者	版画工房とアトリエを開放し、創作の場を市民に広く提供。 各種プレス機、腐蝕施設、ローラー等の備品のほかインクなどが使用できる。 毎週木曜、日曜、月2回の火曜に実施。 9時30分～17時30分(9時30分～13時30分と13時30分～17時30分) 定員:銅版画 10人 リトグラフ 6人 スクリーンプリント 8人 木版画 2人	年間124回実施	<版画工房> 銅版画 リトグラフ <アトリエ> スクリーンプリント 木版画	2023年4～12月(93回) 2,905人 <内訳> 銅版画 1,424人 リトグラフ 614人 スクリーンプリント 662人 木版画 205人	半日: 1,250円 一日: 2,500円

7 その他事業

No	事業名	対象	概要	実施日程	会場	来場者数	参加費
1	第25回 ゆうゆう版画美術館まつり	どなたでも	友の会との共催事業。国際版画美術館を拠点に町田市内外に”美術を愛する人々の交流の輪”を拡げることを目的とする。木版画摺り体験、講演会、コンサート、ワークショップなど館内でさまざまなイベントを実施。町田時代祭り(10月22日)、文学館まつり(10月22日)、生涯学習センターまつり(10月21、22日)と同時期に開催	10/21(土)、22(日)	版画美術館 館内と前庭	5,924人	無料

2023年度前期 作品収集状況

以下の作品が、2023年10月19日開催の2023年度第1回美術資料収集委員会で承認され、収蔵されました。

寄贈作品

No	作品概要	作品点数	評価額 (円)
1	20世紀スペイン版画他	5	460,000
2	谷中安規版画	4	2,000,000
3	勝平得之版画	48	4,690,000
4	招瑞娟・詹永年作品	27	400,000
5	ヤン・フォス《パルタージュ1》	1	100,000
6	ヨルク・シュマイサー作品	43	10,350,000
	合計	128	18,000,000

2023年度国際版画美術館事業報告書【講座・イベント版】

プログラム名	第25回 ゆうゆう版画美術館まつり					
主催者	「国際版画美術館友の会」と「国際版画美術館」の共催	人数	5,924人			
開催日時	2023年10月21日(土)・22日(日) 10:00～16:00	場所	町田市立国際版画美術館と前庭			
実施概要						
	イベント	日時	内容	場所	人数	備考
①	開会式	10/21(土) 10時10分～	・主催者挨拶 ・市長挨拶 ・市議会議長挨拶	館入口前	—	
②	木版画摺り体験	10/21(土)、22日(日) 10時～16時	個別指導で、はがきサイズの木版画の「多色摺り」を体験。	アトリエ	641	
③	講演会「楊洲周延-江戸と明治の架け橋-」	10/22(土) 14時～15時30分	「楊洲周延」展関連イベントとしての講演会。	講堂	63	
④	市域学生アートイベント 玉川大学 『イロナセカイ』	10/21(土)、22日(日) 10時～16時	自身が思い描く世界とキャラクターを楽しむ体験型作品。参加者の皆様の手で世界を作る。	前庭	700	
⑤	市域学生アートイベント 桜美林大学 『世界の遊びと衣装の出張博物館』	10/21(土) 10時～16時	世界各国から集めたコマやけんだま、ボードゲームで遊んだり、帽子や衣装の試着。	講堂	50	
⑥	ゆうゆうコンサート 『二胡ものがたり』	10/21(土) 第1部:13時～13時半 第2部:14時半～15時	二胡・バイオリン・ピアノによる演奏。	エントランス	214	各回観客座席100名で実施したが好評により立ち見客も追加した。
⑦	文化振興課 「芹ヶ谷公園芸術の杜パークミュージアム」紹介展示	10/21(土) 10時～16時	芹ヶ谷公園のパークミュージアム事業についてのPR展示等。	前庭	200	
⑧	ポスターデザイン表彰式	10/22(日) 11時～12時	まつりデザインコンテストに入賞した作品の表彰式。	エントランス	75	応募した全作品は、2日間にわたり展示。市長賞(最優秀賞)が、今回のチラン・ポスターとなっている。
⑨	町田市立博物館 「陶片ペンダントを作ろう」	10/22(日) 10時～16時	素焼きの陶片にマジックペンで絵を描き紐を通してペンダントを作る体験講座。	前庭	345	
⑩	Nature Factory東京町田 「野鳥色のプレスレットを作ろう」	10/22(土) 10時～16時	2色のロープを編んでストッパーを付けプレスレットを作る。	前庭	250	旧大地沢青少年センター、今年度より参加。
⑪	福祉作業所出店	10/21(土)、22日(日) 10時～16時	喫茶けやき、小麦の家、ラ・ドロン	けやき店内・前庭	—	小麦の家、ラ・ドロンは10/21(土)のみの出店
⑫	わけあり図録ワゴンセール	10/21(土)、22日(日) 10時～16時	経年劣化による美品ではない図録を安価で販売。	売店前	158	
備考	<p>・町田駅周辺で行われる4つのまつり(「町田時代祭り(芹ヶ谷公園)」、「文学館まつり(町田市民文学館)」、「生涯学習センターまつり(生涯学習センター)」、版画美術館まつり)が同時期に開催となったため、4つのまつりを巡るスタンプラリーを行った。</p> <p>・前庭では大道芸によるパフォーマンスやシャボン玉発生装置の設置により、にぎやかな空間を演出した。</p>					
事業経費	●負担金 850千円					
主な広報・取材等	朝日新聞首都圏版マリオン・ショッパー・武相新聞など					

	イベント	日時	内容	場所	人数	備考
①	開会式	10/21(土) 10時10分～	・主催者挨拶 ・市長挨拶 ・市議会議長挨拶	館入口前	—	
②	木版画摺り体験	10/21(土)、22日(日) 10時～16時	個別指導で、はがきサイズの木版の「多色摺り」を体験。	アトリエ	641	
③	講演会「楊洲周延-江戸と明治の架け橋-」	10/22(土) 14時～15時30分	「楊洲周延」展関連イベントとしての講演会。	講堂	63	
④	市域学生アートイベント 玉川大学 『イロンナセカイ』	10/21(土)、22日(日) 10時～16時	自身が思い描く世界とキャラクターを楽しむ体験型作品。参加者の皆様の手で世界を作る。	前庭	700	
⑤	市域学生アートイベント 桜美林大学 『世界の遊びと衣装の出張博物館』	10/21(土) 10時～16時	世界各国から集めたコマやけんだま、ボードゲームで遊んだり、帽子や衣装の試着。	講堂	50	
⑥	ゆうゆうコンサート 『二胡ものがたり』	10/21(土) 第1部:13時～13時半 第2部:14時半～15時	二胡・バイオリン・ピアノによる演奏。	エントランス	214	各回観客座席100名で実施したが好評により立ち見客も追加した。
⑦	文化振興課 「芹ヶ谷公園芸術の杜 パークミュージアム」紹介 展示	10/21(土) 10時～16時	芹ヶ谷公園のパークミュージアム事業についてのPR展示等。	前庭	200	
⑧	ポスターデザイン表彰式	10/22(日) 11時～12時	まつりデザインコンテストに入賞した作品の表彰式。	エントランス	75	応募した全作品は、2日間にわたり展示。市長賞(最優秀賞)が、今回のチラシ・ポスターとなっている。
⑨	町田市立博物館 「陶片ペンダントを作ろう」	10/22(日) 10時～16時	素焼きの陶片にマジックペンで絵を描き紐を通してペンダントを作る体験講座。	前庭	345	
⑩	Nature Factory東京町田 「野鳥色のプレスレットを作ろう」	10/22(土) 10時～16時	2色のロープを編んでストッパーを付けプレスレットを作る。	前庭	250	旧大地沢青少年センター、今年度より参加。
⑪	福祉作業所出店	10/21(土)、22日(日) 10時～16時	喫茶けやき、小麦の家、ラ・ドロン	けやき店内・前庭	—	小麦の家、ラ・ドロンは10/21(土)のみの出店
⑫	わけあり図録ワゴンセール	10/21(土)、22日(日) 10時～16時	経年劣化による美品ではない図録を安価で販売。	売店前	158	

まつりの様子



前庭・入口の様子



市長挨拶



玉川大学アートイベント



桜美林大学 アートイベント



講演会



木版画摺り体験



ポスター表彰式

芹ヶ谷公園 “芸術の杜” “パークミュージアムの進捗状況について

1 (仮称) 町田市立国際工芸美術館整備工事について

整備工事に係るプロポーザルの中止

プロポーザル参加者から、期日である2023年10月18日17時までに技術提案書が提出されなかったため、プロポーザルを中止としました。

2 官民連携による整備運営事業について

整備運営事業に係るプロポーザルの中止

(仮称) 国際工芸美術館整備工事の施工者選定のプロポーザル中止に伴い、2つの美術館などの運営を行う、芹ヶ谷公園パークミュージアム整備運営事業のスケジュールを、変更することとしました。公募条件を見直しすることになるため、整備運営事業者を選定するプロポーザルについても、中止としました。

3 美術館条例（公の施設の設置管理条例）について

整備運営事業の事業者を選定するプロポーザルを中止としたため、条例の制定は延期することといたしました。

国際版画美術館 2024(令和6)年度 展示計画(案)

	2024 3月		4月		5月	
企画展示室 1	市美展 3(日)		版画の青春 小野忠重と版画運動 (56日間) 3/16(土)～5/19(日)			
企画展示室 2						
常設展示室	10(日)		I 期 日本のグラフィック・デザイナーと版画 3/13(水)～5/26(日) (65日間)			
	6月		7月		8月	
企画展示室 1	幻想のフラヌール—版画家たちの夢・現・幻— (80日間) 6/1(土)～9/1(日)					
企画展示室 2						
常設展示室	II 5/29(水)～9/1(日) (83日間)					
	9月		10月		11月	
企画展示室 1		1914→1945—戦間期の版画とモダニズム、アール・デコからシュルレアリスムまで(仮) (74日間) 9/14(土)～12/8(日)				
企画展示室 2						
常設展示室		III 9/4(水)～12/8(日) (84日間)				
	2024 12月		2024 1月		2月	
企画展示室 1			小中学校作品展 1/10(金)～2/16(日)			
企画展示室 2			新収蔵作品展 12/21(土)～2/16(日) (43日間)			
常設展示室			IV 12/11(水)～3/9(日) (70日間)			
	3月		4月		5月	
企画展示室 1	市美展		日本版画名品展(仮) 3/20(木)～6/15(日)			
企画展示室 2						
常設展示室			2025 I 3/12(水)～6/15(日)			

2024年度・普及事業予定 2024年4月～2025年3月

2024年1月31日
町田市立国際版画美術館
運営協議会資料(普及係)

1 版画講座

版画工房・アトリエにて開催される版画の講習会。様々な種類の版画を体験することができます。制作を通して版画の理解を深め、創作の楽しさを味わうことを目的としています。子どもを対象にした講座では、版画美術館ならではの楽しい制作体験ができるよう工夫を重ねています。

No	事業名	対象	概要(敬称略)	実施日程	会場	定員	参加費
1	銅版画一日教室①	一般 (高校生以上)	版画の基本的な制作を一日で体験する。初心者から参加可。12×16cmの銅版を用い、ドライポイント技法で作品を制作。下絵は各受講生が持参。様々な方法で描きこむことにより深みのある作品作りを目指す。講師:馬場知子(版画家)	6/7(金) 10:30～16:00	版画工房	10人	3,000円
2	銅版画一日教室②			6/8(土) 10:30～16:00	版画工房	10人	3,000円
3	リトグラフ一日教室①	一般 (高校生以上)	各自用意した下絵をもとに、単色のリトグラフ作品を制作する。初心者から参加可。受講生は講師のアドバイスを受けつつ、様々な描画材を使ってアルミ版に描き込むことで、リトグラフならではの表現を体験する。講師:小森琢己(版画家)	9/27(金) 11:00～16:00	版画工房	8人	3,000円
4	リトグラフ一日教室②			9/28(土) 11:00～16:00	版画工房	8人	3,000円
5	リトグラフ一日教室③			2025年 3/7(金) 11:00～16:00	版画工房	8人	3,000円
6	リトグラフ一日教室④			2025年 3/8(土) 11:00～16:00	版画工房	8人	3,000円
7	木版画一日教室①	一般 (高校生以上)	彫刻刀やバレンの持ち方から、絵具の溶き方、刷毛の使い方まで、版画の基本的な制作を一日で体験する。初心者から参加可。単色または2色摺りの年賀状を制作。下絵は講師が複数用意し、好きなものを選ぶ。彫りから摺りまで、ハガキ30枚程度を制作する。講師:木下泰嘉(版画家)	12/3(火) 10:30～16:00	アトリエ	16人	3,000円
8	木版画一日教室②			12/4(水) 10:30～16:00	アトリエ	16人	3,000円
9	創作講座 スクリーンプリント	一般 (高校生以上)	感光法(写真製版法)による多色刷りの作品制作を通して、スクリーンプリントの基本的な制作方法を学ぶ。初心者から参加可。下絵は受講生が持参。希望者には布への刷りも指導する。講師:吉永晴彦(版画家)	10/4(金)～11/22(金) 13:30～16:30 全8回	アトリエ	10人	24,000円
10	子ども講座①	小学生	アーティストを講師に招き、美術館で制作を楽しむ。講師:常田泰由(東京造形大学造形学部美術学科助教)	5/4(土)	アトリエ	16人	1,000円
11	子ども講座②	小学3～6年生	展覧会を鑑賞し、展覧会にちなんだテーマで簡単な版画制作を楽しむ。講師:杉浦幸子(武蔵野美術大学芸術文化学科教授)	2025年3/29(土)	講堂 展示室	16名	1,000円
12	夏期子ども講座①	小学3～6年生	東京学芸大学の学生ボランティアと指導教官が企画・指導をおこなう。受講生が持参した下絵を、スクリーンプリントの技法で紙とTシャツに印刷する。講座終了後、子どもたちの作品と指導にあたった学生の版画作品を市民展示室で展示する。講師:清野泰之(東京学芸大学芸術・スポーツ科学系教授)	7/27(土) 10:30～15:30	アトリエ 版画工房	15人	2,000円
13	夏期子ども講座②			7/28(日) 10:30～15:30	アトリエ 版画工房	15人	2,000円

2 学校教育への協力

町田市内の学校を中心に、美術部の体験学習や学校単位での団体鑑賞、出張授業などをおこなっています。版画技法について教員からの問い合わせに答えたり、教員研修会への講師紹介・道具の貸出しなどもおこなっています。

No	事業名	対象	概要	実施日程	会場	参加人数	参加費
1	版画講座	東京学芸大学 教育学部 美術講座の学生	アルミ版によるリトグラフの基本的な制作方法を学ぶ。1版単色刷(色インク)にベタ版を加えた2色刷りを制作する。	2025年3月(2日間)	版画工房	10人程度	3,000円

ほか

3 他機関への協力

美術館や大学からの依頼を受けて、調査・研究活動に協力します。

4 作品展

講座で制作した作品による作品展を、館内の市民展示室等で開催します。 作品を展示する機会を受講生に提供し、「発表する楽しさ」を経験してもらうことを目的としています。
小中学校作品展では、美術館を会場とし美術館職員がかかわることで、より質の高い展示を目指しています。

No	事業名	対象	概要	会期	会場	出品状況	観覧料
1	夏期子ども講座作品展	どなたでも	夏期子ども講座(内容上記参照)の受講生と指導をおこなった東京学芸大学の学生による作品展。講座で制作した版画のほか、下絵用紙、制作についての感想文も展示。講座の様子をまとめた動画や制作手順の解説パネルを設置する。	8/6(火)~10(土) <5日間>	市民展示室	-	無料
2	第38回 町田市公立小中学校作品展	どなたでも	町田市内の公立小中学校にかよう児童・生徒による作品展。子どもたちが授業等で制作した美術、図画工作、書写の意欲溢れる作品を展示し、日頃の学習の成果を発表する。 <参加校> 町田市立小学校および中学校 <出品作品> 上記学校の授業等で児童・生徒が作った水彩画、版画、デザイン、ポスターなどの平面作品ならびに中学生による工芸、彫刻などの立体作品。および小学生の書写作品。 <会場> 企画展示室1 <主催> 町田市、町田市教育委員会、町田市公立小学校教育研究会図工部・国語部、町田市中学校教育研究会・美術部	中学校美術作品展 2025年1/10(金)~19(日) <9日間>	企画展示室 1	20校	無料
				小学校図画工作展 2025年1/24(金)~2/2(日) <9日間>	企画展示室 1	42校	
				小学校書写展 2025年2/7(金)~2/16(日) <9日間>	企画展示室 1	42校	

5 イベント、コンサート

気軽に参加できるさまざまなイベントを実施することで、より身近な美術館となるよう努めます。

No	事業名	対象	概要 (敬称略)	実施日程	会場	定員	参加費
1	プロムナード・コンサートⅠ	どなたでも	「版画の青春 小野忠重と版画運動」展関連催事 塩谷遥(ピアノ独奏)	4/27(土) ①13:00 ②15:00 各30分	エントランス ホール	①100人 ②100人	無料
2	プロムナード・コンサートⅡ	どなたでも	詳細未定(調整中、場合によりコンサートⅡとコンサートⅢを入れ替えて実施)	7月頃予定 ①13:00 ②15:00 各30分	エントランス ホール	①100人 ②100人	無料
3	プロムナード・コンサートⅢ	どなたでも	町田市内の大学で音楽を学ぶ学生による声楽、器楽。 ①桜美林大学芸術文化学群 ②玉川大学芸術学部	9/14(土)予定 ①13:00 ②15:00 各30分	エントランス ホール	①100人 ②100人	無料

6 版画工房・アトリエの一般開放

No	事業名	対象	概要	実施日数	会場	使用料
1	版画工房・アトリエの一般開放	版画制作経験者	版画工房とアトリエを開放し、創作の場を市民に広く提供。 各種プレス機、腐蝕施設、ローラー等の備品のほかインクなどが使用できる。 毎週木曜、日曜、月2回の火曜に実施。 9時30分~17時30分(9時30分~13時30分と13時30分~17時30分) 定員:銅版画 10人 リトグラフ 6人 スクリーンプリント 8人 木版画 2人	年間124回実施	<版画工房> 銅版画、リトグラフ <アトリエ> スクリーンプリント、木版画	半日: 1,250円 一日: 2,500円

7 その他事業

No	事業名	対象	概要	実施日程	参加人数(見込)	観覧料
1	第26回 ゆうゆう版画美術館 まつり	どなたでも	木版画摺り体験、コンサート、市域学生によるアートイベントなど、さまざまなイベントが実施されます。友の会との共催事業です。	10/26(土)、10/27(日)の2 日間 (予定)	5,000人	無料